

2018年度湘南藤沢学会「研究助成基金」成果報告書

IES KCIC 2018

6th International Electronics Symposium on Knowledge Creation and Intelligent Computing (IES-KCIC)

ポスター発表

慶應義塾大学 総合政策学部4年 本田啓記

1. 活動日程・場所

日程：2018年10月28日～2018年11月1日

会場：The Patra Bali Resort & Villas

2. 活動の目的

インドネシア・バリ島・The Patra Bali Resort & Villasで開催される,IES KCIC 2018 (6th International Electronics Symposium on Knowledge Creation and Intelligent Computing) にて,題名「A Regional-Diversity-Corresponding Real Estate Information Search & Evaluation System」で口頭発表を行った. 地域多様性を対象とした不動産評価・情報統合検索システムを提案した. これにより, 日本のみならず将来アジアが抱える不動産問題への解決策を打ち出し, 強い印象を与えると同時にこの研究の発展につながると考える. また今後, シンポジウム期間中他の研究者との討論で得た知見を取り入れ,さらなる研究の発展を目指す.

3. 発表内容

発表内容は,地域多様性を対象とした不動産評価・情報統合検索システムの提案である. 一般的に不動産の選定には,選定者の定性的かつ妥当性にかける土地認識(先入観)が大きく影響する.そのため,本システムに地域の多様性を定量的に考慮・評価する手法を取り入れた.本システムの特徴は,不動産を評価する要素によって地域多様性を考慮・評価を行う点である,その後MMM,SQLやAICを組み合わせた計算により定量的に不動産情報を選定者に提供する.発表を通して,本システムの有効性と実現可能性を示した.

4. 活動の成果

本学会に参加した研究者の研究発表を聴講して, 現在どのような研究が活発に行われているかを把握した. また口頭発表における質疑を通じて,今後の研究の

参考になる様々なご指摘を頂くことができた。



図1. 口頭発表風景

5. 今後の発展

口頭発表における質疑を通じて得た問題を再度検討する。また本研究は3月に行われる国内学会、第11回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラムへの投稿も予定している。今回のご指摘を踏まえ、自分の研究内容をより良くし投稿したいと思う。本学会で得た様々な知見や経験は非常に良いものでありました。

6. 謝辞

本学会参加のために、資金援助をしてくださった湘南藤沢学会に厚くお礼申し上げます。